

道路トンネル覆工スパン番号記入要領（案）

福島県土木部道路領域

1. 適用範囲

本道路トンネル覆工スパン番号記入要領（案）（以下、本要領）は、福島県の管理する道路トンネルにおいて、覆工スパン（覆工アーチコンクリート1打ち込み）の番号記入の方法について定めたものである。

2. 目的

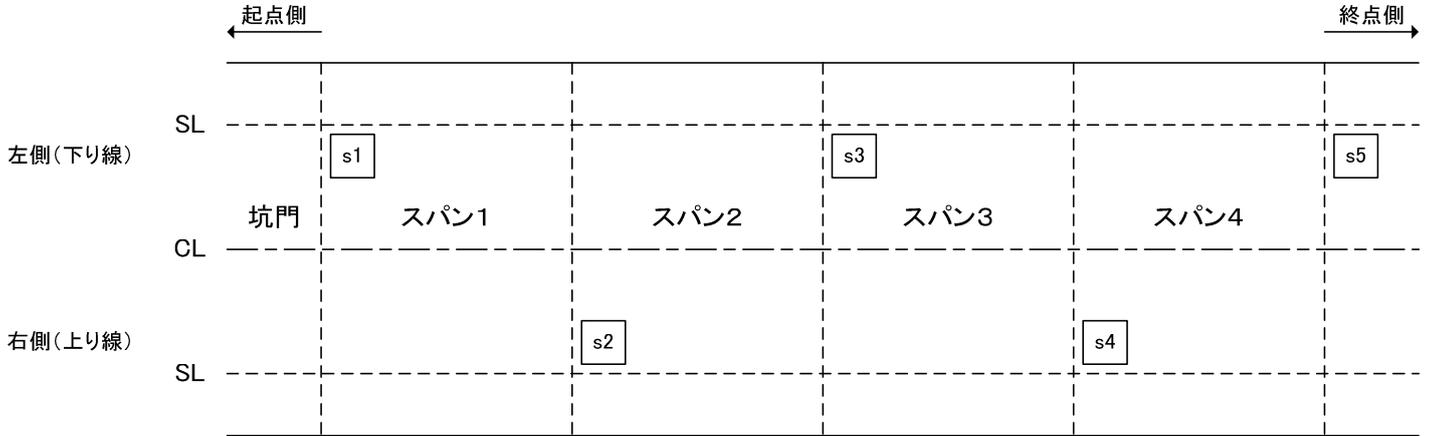
福島県が管理する道路トンネルの各種点検において、スパン番号を統一した管理を行う目的で、トンネル覆工面にスパン番号を記入するものである。

3. 記入および配置方法

スパン番号は吹き付けプレートを用いて、スプレーペイントで覆工面に記載する。
配置方法、文字のサイズ等は以下の通りとする。

- ① スパン番号の表示形式は、スパンを表す **s** と数字を組み合わせ、起点側より「**s1**」から始めて、千鳥配置で記入する（配置平面図参照）。また、坑門および坑門と一体となった覆工にはスパン番号は記入しない。
- ② 文字の大きさは、**s** が縦 10.0cm・横 6.5cm、数字が縦 15.0cm・横 9.5cm とする。
例：**s10**（10番目のスパン）
- ③ 文字は白色スプレーペイントで記入する。
- ④ 記入前の事前処理として、覆工面の汚れ（すす、漏水、エフロなど）を落とす。
- ⑤ スパン番号の記入位置は（配置正面図）を標準とするが、覆工表面の補修材、漏水、その他設置された設備等が支障となって、所定の位置に記入できない場合は、上下それぞれ±30cm 以内の範囲で適時、位置を変更できる。またそれに拠れない場合は、監督員と協議の上、記入位置を決定すること。

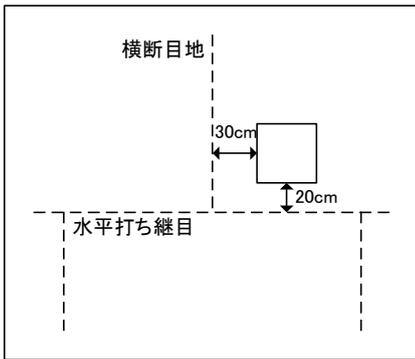
<配置平面図>



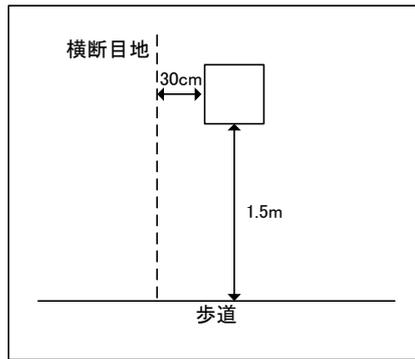
千鳥配列

- ・下り線は奇数番号、上り線は偶数番号とする。
- ・スパン内の起点側に配置する。

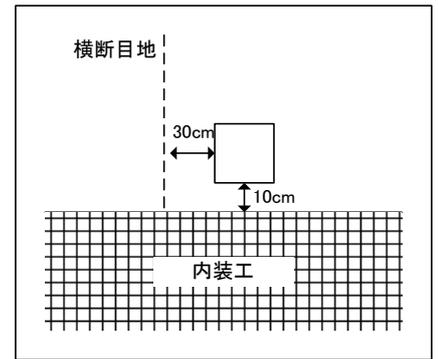
<配置正面図>



矢板工法



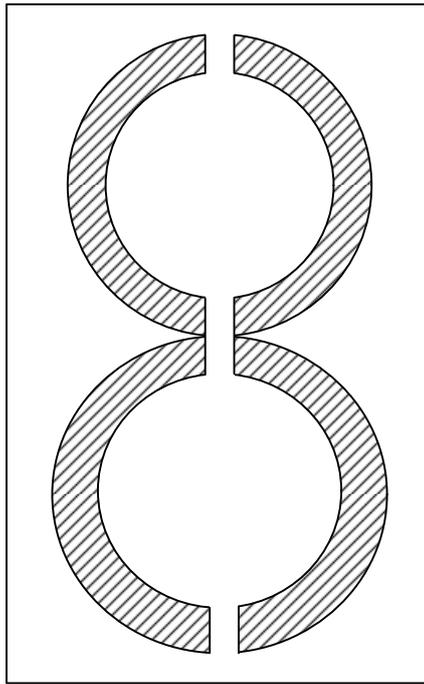
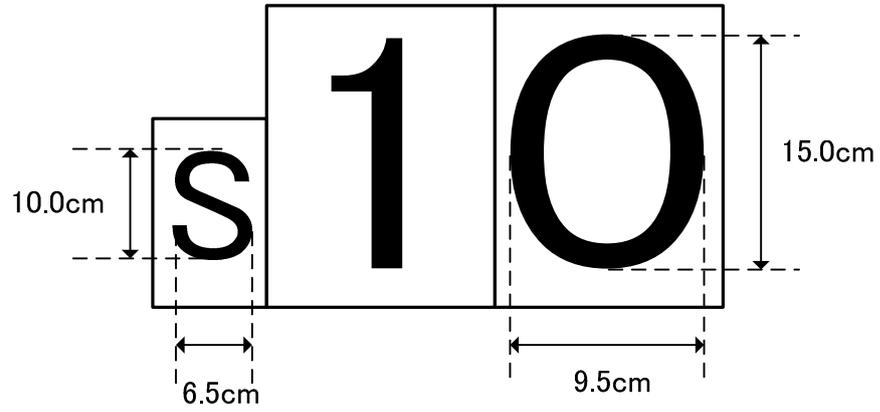
NATM



内装工(塗装を含む)がある場合

スプレー吹き付け前には覆工面の汚れ(すず、漏水、エフロなど)を落とす。

<詳細図>



中空の数字は一部つなぎ目をつくる

- ・スプレーの色は白とする。
- ・文字サイズは、数字が縦15.0cm・横9.5cm、英字は縦10.0cm・横6.5cmとする。